

がん検診、受けていますか？



肺がん検診

40歳以上の男女：年1回



大腸がん検診

40歳以上の男女：年1回



胃がん検診

50歳以上の男女：2年に1回

(胃部エックス線検査は40歳以上、1年に1回でも可)



乳がん検診

40歳以上の女性：2年に1回



子宮頸がん検診

20歳以上の女性：年1回



@Office710 / MIRIM

気になる症状のない 今のあなたこそ、
受けるものです！



茨城県

国が推奨する5つのがん検診※



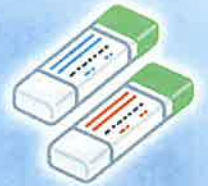
肺がん検診【40歳以上の男女：年1回】

- 胸部エックス線検査
肺全体をエックス線で撮影する検査です。
- 喀痰細胞診（医師が必要と認めた場合）
痰にがん細胞が混ざっていないか検査します。



大腸がん検診【40歳以上の男女：年1回】

- 便潜血検査
便を採取し、便の中に血液があるか調べ、大腸内の出血の有無を調べます。



胃がん検診【50歳以上の男女：2年に1回】

- （胃部エックス線検査は40歳以上、1年に1回でも可）
- 胃エックス線検査
発泡剤（胃をふくらませる薬）とバリウム（造影剤）を飲んで、エックス線で胃の形や粘膜を撮影する検査です。
 - 胃内視鏡検査
口または鼻から内視鏡を挿入して、胃の内部を検査します。



乳がん検診【40歳以上の女性：2年に1回】

- マンモグラフィ
乳房を装置で挟み、エックス線で撮影する検査です。
 - 超音波検査
乳房に超音波をあて、乳房内部を検査します。
- ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）を意識し、日頃から乳房の状態に関心をもって、乳房の変化を感じたら速やかに医師に相談しましょう。



子宮頸がん検診【20歳以上の女性：1年に1回】

- 細胞診検査
子宮の入口（頸部）の細胞を採取し、異常な細胞がないか顕微鏡で調べます。
- コルポスコピー検査（必要に応じて）
コルポスコピー（陰拡大鏡）を使い、子宮頸部を観察します。



子宮頸がんは、HPVワクチンの接種で予防できることがあります！

子宮頸がんの主な原因は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によるものといわれています。

予防するには、HPVワクチン※の接種とがん検診の定期的な受診が重要です。

※小学校6年生～高校1年生相当の女の子は、公費によりワクチン接種を受けることができます。
ご希望の方はお住まいの市町村にお問合せください。

※がん検診の最大のメリットは、がんの早期発見・早期治療を行い、がんによる死亡を減らすことです。
一方で、がん検診には、最終的にがんでなくとも、検診の結果「要精密検査」となる（偽陽性）など、一定のデメリットも存在します。
国ががん検診として推奨する5つのがん検診は、検診によるメリットがデメリットを上回ることが、科学的な方法により証明されています。

参考 ○国立がん研究センター がん情報サービス「がんの予防・検診 がん検診」https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/index.html
○厚生労働省「HPVワクチンについて知ってください～あなたと関係のある“がん”があります」リーフレット（詳細版）

いま、**日本人の2人に1人ががんにかかる**といわれています。

しかし、がんは不治の病ではありません。現在は検査技術の向上や治療の進歩により、早期に発見し、早期に治療すれば治せる病気になっています。



「早期がん」は、 自覚症状がほとんどない。

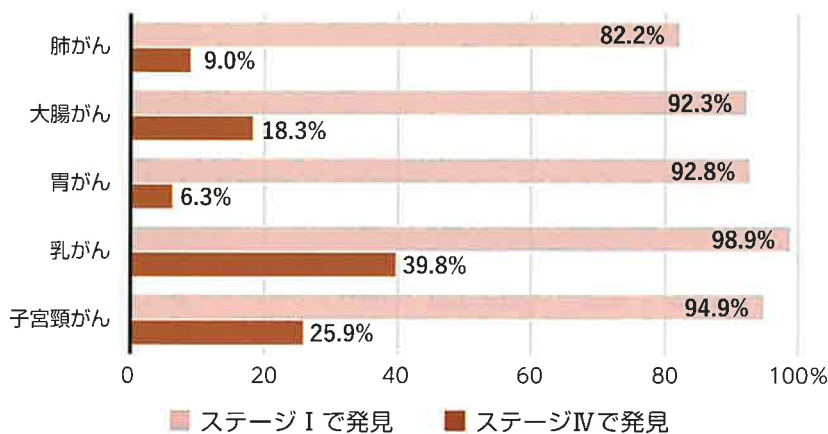
がん細胞は最初、ゆっくり成長します。10～30年かけて1cmくらいになり、検診で見つけられるようになります。ここからの成長は早く、2cmになるのに1～2年しかかかりません。しかもこの間、自覚症状はほとんどなし。がん検診を受ければ、この無症状（早期）のうちに、がんを発見できます。



早く発見、早く治療すれば、 がんは治せる！



がんと診断されてから5年後の生存率



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録2014-2015年5年生存率集計」

ステージⅣ(進行がん)で
発見されたときに比べて、
ステージⅠ(早期がん)で
発見できたときの方が、
**5年後の生存率が
高いです。**

結果が「要精密検査」になったら

がん検診を受けた結果が「要精密検査」となった方は、精密検査を受診し、本当に異常があるかを調べる必要があります。症状がないからと放置せず、必ず精密検査を受けるようにしましょう。

精密検査や治療を受けなければ、がん検診の効果はなくなってしまいます。

茨城県で2020年にがんと診断された方のうち、胃がん12.5%、大腸がん14.7%、肺癌15.4%、乳がん23.3%、子宮頸がん13.8%は、がん検診で発見されています。

出典：茨城県がん登録事業報告2020年集計



@Office710 / MIRIM



がん検診、どこで受ける？



@Office710 / MIRIM

現在、事業所等で働いている

NO

YES

お勤めの職場でがん検診や人間ドックを実施している

NO

YES

職場で受診しましょう！

受診できなかった人は

お住まいの市町村窓口へ相談して、受診しましょう！

※がん検診の種類・対象年齢・費用などは、検診を実施する事業所や市町村によって異なります。
詳しくは、事業所やお住まいの市町村へお問い合わせください。

市町村別がん検診に関するお問い合わせ先（五十音順）

阿見町 健康づくり課	☎ 029-888-2940	筑西市 健康増進課	☎ 0296-22-0506
石岡市 健康増進課（八郷保健センター）	☎ 0299-43-6655	つくば市 健康増進課	☎ 029-883-1111
潮来市 かすみ保健福祉センター	☎ 0299-64-5240	つくばみらい市 健康増進課	☎ 0297-25-2100
稲敷市 健康増進課	☎ 029-892-2000	土浦市 健康増進課	☎ 029-826-3471
茨城町 健康増進課	☎ 029-240-7134	東海村 健康増進課（保健センター）	☎ 029-282-2797
牛久市 健康づくり推進課	☎ 029-873-2111	利根町 保健福祉センター	☎ 0297-68-8291
大洗町 健康増進課	☎ 029-266-1010	取手市 保健センター	☎ 0297-85-6900
小美玉市 健康増進課	☎ 0299-48-0221	那珂市 健康推進課	☎ 029-270-8071
笠間市 健康医療政策課	☎ 0296-77-9145	行方市 健康増進課（行方市保健センター）	☎ 0291-34-6200
鹿嶋市 保健センター	☎ 0299-82-6218	坂東市 健康づくり推進課	☎ 0297-35-3121
かすみがうら市 健康増進課	☎ 029-898-2312	常陸太田市 健康づくり推進課	☎ 0294-73-1212
神栖市 健康増進課	☎ 0299-90-1331	常陸大宮市 健康推進課	☎ 0295-54-7121
河内町 町民課（保健センター）	☎ 0297-84-4486	日立市 健康づくり推進課	☎ 0294-21-3300
北茨城市 健康づくり支援課	☎ 0293-43-1111	ひたちなか市 健康推進課（ヘルス・ケア・センター）	☎ 029-276-5222
古河市 健康づくり課	☎ 0280-48-6882	鉾田市 健康増進課	☎ 0291-33-3691
五霞町 健康福祉課健康支援係	☎ 0280-84-0006	水戸市 水戸市保健所 健康づくり課	☎ 029-243-7311
境町 健康推進課	☎ 0280-87-8000	美浦村 健康増進課（保健センター）	☎ 029-885-1889
桜川市 健康推進課	☎ 0296-75-3159	守谷市 保健予防課（保健センター）	☎ 0297-48-6000 （音声案内1）
下妻市 健康づくり課	☎ 0296-43-1990	八千代町 健康増進課保健係	☎ 0296-48-1955
常総市 保健推進課	☎ 0297-23-3111	結城市 健康増進課	☎ 0296-32-7890
城里町 健康福祉課	☎ 029-240-6550	龍ヶ崎市 健康増進課（保健センター）	☎ 0297-64-1111
大子町 健康こども政策課	☎ 0295-72-6611		
高萩市 健康づくり課	☎ 0293-24-2121		

●茨城県ではがん対策に積極的に取り組んでまいります



「がんを知り、がんと向き合う ～県民の参療を目指して～」

◆参療とは◆ がんに関する正しい知識を習得し、自身に提供されるがん医療を決定できることについて自覚を持って、がん医療に主体的に参画すること。
（茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民参療条例 第2条第1項に規定）

茨城県のがん対策については

「がん対策 ～総合がん情報サイトいばらき～」へ

茨城県 がん対策

検索

